

第20回

日本腎病理協会研究会

日本腎病理協会の第20回研究会は、昨年度に引き続きオンラインで行うことになりました。

今回、腎病理と協会を永年導いてくださる山中先生から特別講演を、補体機能異常関連の腎障害を水野正司先生、遺伝性腎疾患では野津寛大先生、ループス腎炎の診療updateを廣村桂樹先生に、各セッションお招きしてご講演いただきます。希少腎研究からの中間報告や症例検討も交えて、貴重なご講演をWEBで拝聴しながら、各地の先生方と一緒に2022年を始められると幸いです。

本研究会参加には事前登録が必要です。同日午前の腎病理プログラム（初級）に登録済みの方は、本会へ無料で登録できますので、下記URLより午前参加明記の上、登録ください。（午前のプログラムと 午後の第20回研究会は接続情報は異なり、別途登録が必要です）

本会のみ参加の方は2000円を下記の口座へお振込み後、1月3日までに登録ください。

登録内容を確認し、順次接続情報をご案内します。1/5までに接続情報が届かない場合は hrpc_sc1@gene-lab.comまでご連絡下さい。

プログラム 13:00～

開会のご挨拶 清水章先生

1. 希少腎6疾患研究 中間報告 (13:10-14:00)

司会： 清水章先生 小川弥生先生

- Castleman病・TAFRO症候群・POEMS症候群の腎病変に関する研究 益澤尚子先生
- アミロイド類似線維性腎疾患におけるDNAJB9のインパクト 川西邦夫先生
- IgA沈着型膜性腎症 田中瑞子先生
- 抗リン脂質抗体症候群腎症における免疫染色の試み 岩崎沙理先生
- Light Chain Proximal Tubulopathy -病理所見と臨床像の関連について 難波倫子先生

2. 特別講演 (14:10～) 司会： 清水章先生

腎病理学習のためのアドバイス

東京腎臓研究所 山中宣昭先生

※ 協会学術委員会からアンケート報告 (14:50) 川西邦夫先生

3. 教育講演 1 (15:20～) 司会： 北村博司先生

補体関連腎疾患への補体学的アプローチ

名古屋大学大学院医学系研究科腎不全システム治療学寄附講座
水野正司先生

4. 教育講演 2 (16:20～) 司会： 松岡健太郎先生

遺伝子から考察する遺伝性腎疾患における腎病理

神戸大学大学院医学研究科内科系講座小児科学分野
野津寛大先生

5. 教育講演 3～ 症例検討 (17:30～) 司会： 本田一穂先生

ループス腎炎の診療アップデート

群馬大学大学院医学系研究科 腎臓・リウマチ内科学 廣村桂樹先生
症例 一卵性双生児に発症したSLE例
信州大学病理組織学教室 江原孝史先生

記

日時 1月9日(日)
13時00分～18時30分ころ

形式 Zoom webinar
オンラインライブ研究会

参加費 ¥2000
(本会のみ参加登録の方は
下記にお振込みください)

北洋(ホクヨウ)銀行
桑園(ソウエン)支店

普 0189173

口座名：
ニホンジンビョウリキョウカイ

参加登録URL：
https://us06web.zoom.us/join/register/WN_8lmBtRM8R3yX30X-NreNwg

1月3日までに登録ください



日本腎病理協会
Japanese Renal Pathology Society